

IOM支援プロジェクト式典の開催

5月16日、嶋崎大使は、令和2年度補正予算により日本が支援するプロジェクトである「人道的国境管理に基づく新型コロナウイルス感染防止対策の実施」完了式に出席しました。

本プロジェクトは、日本の50万ドルの支援（非ODA）により、IOMがヨルダン軍及び王立医療サービスと協力して実施したものであり、ヨルダン政府による人道的な国境管理能力の強化に資することを目的としています。本プロジェクトを通じて、ザルカの国境管理施設における女性隊員のための事務所兼宿泊施設の建設に加え、新型コロナウイルス感染防止対策に焦点を当てた、国境管理従事者に対する感染防止対策に関する能力強化トレーニングが行われました。

ザルカの当該施設にて実施された本式典には、国境管理を行うヨルダン軍のアルハティーブ計画・組織・防衛資源局長、クルトIOMヨルダン代表等が出席し、各参加者から日本政府による支援及び長年のパートナーシップに感謝が述べられました。

嶋崎大使からは、ヨルダン及び地域の安定に貢献するため、引き続きIOM及びヨルダン軍と継続的に協力していきたい旨述べました。

また、式典後には、女性隊員のための事務所兼宿泊施設の視察が実施されました。

